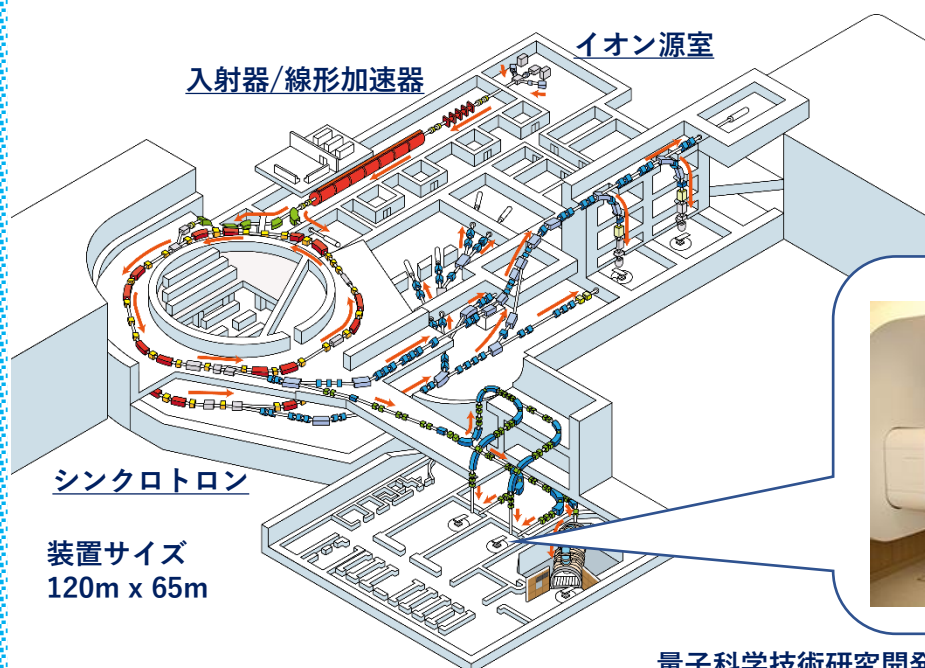


重粒子線がん治療 装置見学会

「夏休み」に 放射線 を「知って、見て、体験」

中学校、高校の理科、技術・家庭科教員を対象に、放射線についての施設見学会を開催します。千葉県量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門にある世界初の重粒子線がん治療装置（HIMAC）の見学をはじめ、放射線を授業で教える際のポイントや簡単な実験方法などの講習を行います。奮ってのご参加をお待ちしております。



※当日は、イオン源室、ビームライン、旧治療室等の見学になります。



量子科学技術研究開発機構  HP掲載写真より作成

日時： 2024年7月29日（月） 13時集合～17時解散 予定

集合・解散場所： JR総武線稲毛駅（千葉県）切符売り場前

会場： 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所

対象： 主に中学校・高校の理科、技術・家庭科教員

参加費： 無料（先着12名にて締切）

主催： （一社）日本原子力産業協会

□ 実施スケジュール

時間	内容	備考
13:30 - 14:20	放射線の基礎知識	授業で使えるポイントを解説。
14:30 - 15:20	学校でできる実習体験 ・ 目で見える放射線（霧箱） ・ 放射線検出器の使い方	
15:30 - 16:20	施設見学 ・ 重粒子線がん治療装置	現在、治療に使用している治療室を除く、イオン源室、ビームライン等の見学となります。
16:20 - 16:30	アンケート	終了後、稲毛駅まで移動し、解散。

□ お申し込み方法

電子メール（宛先：jinzai@jaif.or.jp）にて以下についてご連絡ください。

- ✓ お名前
- ✓ 学校名と担当教科
- ✓ 当日連絡可能な電話番号

□ お問い合わせ先

（一社）日本原子力産業協会人材育成部 担当 森野、中村

TEL: 03-6256-9368 E-mail: jinzai@jaif.or.jp

昨年度参加者の感想

- ・ 霧箱や治療装置など、実物に触れ、見ることは、写真よりも理解が深まりました。
- ・ 地下まで含む建物全体が1つの治療装置であり、スケールの大きさに圧倒されました。
- ・ 最先端の科学技術の現状把握と先見性のある将来展望を考える機会となりました。
- ・ 学習指導要領の改訂も踏まえたお話だったので、イメージがしやすかったです。
- ・ 実際に自分が足を運んでいると、放射線の利用例を生徒に示す際の説得力も増します。

※当日は歩きやすい履物でお越しください。